

4-2

<入学者数、収容定員、在学者数> (単位:人)

令和8年5月1日現在					
	入学定員	入学者数		収容定員	在籍者数
			うち社会人学生入学者		
食物栄養学科	50	52	4	100	99
幼児教育学科	35	21	0	85	37
計	100	66	6	185	136

<専任教員（助手除く）1人当たり学生数> (単位:人)

令和8年5月1日現在	
	学生数
食物栄養学科	7.6
幼児教育学科	1.6

<収容定員充足率> (単位:人)

令和8年5月1日現在	
	収容定員充足率
食物栄養学科	99%
幼児教育学科	44%

<社会人学生数> (単位:人)

令和8年5月1日現在	
	社会人学生数
食物栄養学科	4
幼児教育学科	0

<留学生数及び海外派遣学生数> (単位:人)

令和8年5月1日現在		
食物栄養学科	留学生数	0
	海外派遣学生数	0
幼児教育学科	留学生数	0
	海外派遣学生数	0

入学者の選抜に関すること

<食物栄養学科> 面接（文章朗読を含む）、小論文の出題意図

- ・食物栄養学科のアドミッション・ポリシーに基づき、出身高校学校長から提出された推薦書および調査書並びに本学で課する小論文・面接により、総合的に判定する。
- ・学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価する。

[評価の方法]

- 小論文 ・提出された課題を理解し、自分の考えを論理的に表現しているか。
 - ・適切な表記や表現を用いて文章を書いているか。
- 面接 ・推薦書や調査書に基づいて、志望動機の確認、高等学校までの色々な活動状況、総合の時間を利用した研究内容等を確認する。
 - ・入学後の目標と将来像について確認をする。
 - ・文章朗読をする。
 - ・栄養士の分野に関する質問。

<幼児教育学科> 面接、小論文、学力試験の出題意図

- ・幼児教育学科のアドミッション・ポリシーに基づき、出身高校学校長から提出された推薦書および調査書並びに本学で課する小論文・面接・学力試験により、総合的に判定する。
- ・学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価する。

[評価の方法]

- 小論文 ・提出された課題を理解し、自分の考えを論理的に表現しているか。
 - ・適切な表記や表現を用いて文章を書いているか。
- 面接 ・推薦書や調査書に基づいて、志望動機の確認、高等学校までの色々な活動状況、総合の時間を利用した研究内容等を確認する。
 - ・入学後の目標と将来像について確認をする。
 - ・志望理由書による質疑。
 - ・幼児教育分野に関する質問。

学力試験 以下のどちらかを選択

- ・国語（国語総合（古文・漢文を除く））
- ・外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ（リスニングを除く））

令和８年度は国語を実施した（外国語の実施実績はない）。

試験問題、解答例に関しては著作権保護の観点および出題管理の都合上、公表は見合わせている。出題意図は、語彙や文法といった日本語の基本的な知識を問うとともに、論理的な文章を正確に読み解く力があるかを見ることである。

令和 8 年度（2026 年度）小論文課題と出題意図

<総合型選抜> 総合Ⅰ期・総合Ⅱ期

（総合Ⅰ期） 食物栄養学科	【小論文課題】 「共食（きょうしょく）について※」 ※家族や仲間が食卓を囲んでコミュニケーションを取りながら食事をする事。 農林水産省が共食に関する研究結果を「共食推進のエビデンス（根拠）」として以下のように公開しています。 * 共食をすることは、自分が健康だと感じていることと関係しています。 * 共食することは、健康な食生活と関係しています。 * 共食することは、規則正しい食生活と関係しています。 * 共食することは、生活リズムと関係しています。 あなたは、日頃どのような食事をしていますか。 共食についてどう思いますか。具体的なエピソードなども加えて 600 字以内で述べてください。 【出題意図】 共に食事をする事は、自身の健康・規則正しい食生活・整った生活リズムと大きく関係している。食の専門分野を学ぶ本学食物栄養学科では、共に食事をする事について自身のしっかりとした考えを持っていることが望ましいと考える。
（総合Ⅱ期） 食物栄養学科	【小論文課題】 今まであきらめずにやってきたことは何ですか。そこから学んだことを今後の学校生活にどのように生かしていきたいですか。600 字以内で述べてください。 【出題意図】 あきらめずに取り組んだ対象（部活動、勉強、資格取得、行事、人間関係など）から、受験生の関心の対象や、何を大切に生きているかという価値観を見る。それがアドミッション・ポリシーにマッチしているかを確認する。
（総合Ⅰ期） 幼児教育学科	【小論文課題】 あなたが、幼児教育・保育を持ったきっかけについて振り返り、幼児教育・保育に携わる職業ならではの魅力はどのようなことだと考えるか、600 字以内で述べなさい。 【出題意図】 幼児教育・保育への関心がどこから生まれたのかを問い直し、「なぜこの道を選びたいのか」を論理的に表現できるかを評価する。
（総合Ⅱ期） 幼児教育学科	【小論文課題】 保育園、幼稚園など保育の現場では、「絵本の読み聞かせ」を大切に、日々の保育の中で実践しています。一方で、動画コンテンツを利用することに替え、親子で絵本の読み聞かせを楽しむ時間を持ってない家庭が増えている状況も報告されています。 それにふまえ、「絵本の読み聞かせ」の意義（重要性や価値）について、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。 【出題意図】 絵本の読み聞かせの教育的・心理的な価値を理解しているかを問い、時代背景を踏まえたうえで、自分の意見を持てるかを確認する。

＜学校推薦型選抜＞ 公募推薦（Ⅰ期）

食物栄養学科	【小論文課題】 健康について 厚生労働省の第5次国民健康づくり対策である「21世紀における第三次国民健康づくり運動「健康日本21（第三次）」の基本的な方向の中に、＜健康寿命の延伸と健康格差の減少＞とあります。あなたが、健康を維持・増進するために心がけていること、心がけたいことは何ですか。自分の体験や理由を含めて600字以内で述べてください。 【出題意図】 健康に生きるための3本柱は、「食事」・「運動」・「休養」であり、本学食物栄養学科が専門とする「食」は健康に生きるために欠かせない分野であることから、健康についての考えを問う内容の出題とした。
幼児教育学科	【小論文課題】 情報機器等の発達によって、私たちの暮らしは大きく変化し、様々な疑似体験（現実に行わなくても本物に近い感覚の体験）が容易になっています。このような社会状況の中で、幼少期に本物の体験をすることの意義（重要性、価値）は、どのようなことだと思いますか。具体例を挙げるなどして、600字以内で述べなさい。 【出題意図】 情報化社会の現状を理解し、幼少期に「実体験」することの教育的・発達の価値を、単なる一般論ではなく、具体例を通じて説明できるかを確認する。

＜学校推薦型選抜＞ 公募推薦（Ⅱ期）・（Ⅲ期）・（Ⅳ期）

食物栄養学科	【小論文課題】 共同作業※（コラボレーション）について※複数の人が集まって目的達成のために協力して行う作業 食物栄養学科の実験・実習等では、共同作業を必要とする場面があります。共同作業を成功させるために必要なことは何だと思いますか。自分の体験も含めて600字以内で述べてください。 【出題意図】 本学食物栄養学科においては、栄養士養成を中心に行っているため、栄養士養成課程において必要とされる実験・実習も重要と考える。実験・実習の多くは、共同作業であり、授業内容はもちろん重要であるが、共同で1つの事を追求して結果を導き出す過程も重要と考えている。自身の共同作業についての考えを問うテーマとした。
幼児教育学科	【小論文課題】 子どもたちへ、肯定的な言葉かけを行うことで安心感が生まれ、情緒が安定し、行動が活発になることはよく知られています。あなたが、今まで出会った人たちから投げかけられたり、書籍・映画などを通して自分を支えてくれたりした「言葉」を振り返り、「言葉」について大切にしていること、感じていることなどを600字以内で教えてください。 【出題意図】 「肯定的な言葉かけ」が保育において果たす役割を、自身の体験と結びつけて考えられる

	かを問い、単なる体験の羅列ではなく、そこから得た気づきや「言葉の力」についての価値観を論理的に表現できるかを評価する。
--	---

＜一般選抜＞ 一般（A・B） ＜社会人選抜＞ 社会人（A・B）

食物栄養学科 一般 A 社会人 A	【小論文課題】 本学科は、食物栄養の専門職になるという共通の目的を持って学ぶ場です。限られた2年間の中であなたがやりたいこと（学びたいこと・挑戦したいこと・経験したいこと等）は何ですか。理由も含めて600字以内で述べてください。 【出題意図】 本学科は2年間で、卒業・各種資格（栄養士養成を中心とした）を目指している。限られた期間で、多忙な日々を過ごすことになる。自身の将来に向けて貴重な2年間の過ごし方を述べることで、入学してからの意欲につながると考える。
食物栄養学科 一般 B 社会人 B	【小論文課題】 「食品ロスについて」 日本で食べられるのに捨てられている食品は、年間464万トン（令和5年）と推計されており、事業系からは231万トン（規格外・返品・売れ残り・食べ残し等）家庭系からは（食べ残し・手つかずの食品・過剰除去等）といわれています。 あなたは、日本の食品ロスについてどう思いますか。また、日頃食品ロス減少のために実行していること、工夫していることを600字以内で述べてください。 【出題意図】 本学食物栄養学科は、食の専門家を育てる学科である。食を取り巻く問題は、近年特に、社会の中で大きく取り上げられている。個人の食生活は社会問題とも大きく関わっている。社会と自身の食の関わりについて考えを問うテーマとした。